

2025年 11月 吉 日

自治会長様、町会長様

北総線の運賃値下げを実現する会（略称:北実会）

共同代表 太田誠 金子多喜子 北田實 藤森義韶 間嶋博

北実会の活動の報告とご寄付のお願い

拝啓 晩秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

貴会におかれましては平素より地域社会の発展にご尽力されておられること、心から敬意を表します。また、昨年秋の「北実会の活動のご報告とご寄付のお願い」をお届けした際には、ご協力をたまわり有難うございました。

さて、私ども北実会は、結成以来26年間、皆様のお力添えをいただきながら、北総線の運賃値下げ運動を続けてまいりました。これもひとえに市民各位のご支援があったればこそであり、厚くお礼申し上げます。

高運賃値下げの運動が、なかなか目に見える成果を上げられない中で、2022年、北総鉄道は運賃値下げを発表し、一昨々年10月1日から実施されました。内容としては通学定期の3分の1への値下げ(京成本線並みで画期的)、北総区間の最大100円の値下げでメタボ運賃の是正も図られました。しかし普通運賃は依然京成本線の2倍という高さです。引き続き運賃値下げを求めて、運動を継続していきたいと考えております。

私達は、次の三つの不公正を正せば京成本線並みの運賃を実現できると考えています。

- ① 成田スカイアクセス線を運行する京成電鉄から正当な線路使用料等を収受すれば大幅値下げの原資ができる。(現在京成がほぼ同数の電車を走らせているのに、北総には1円の利益も入らない仕組みです。)
- ② さらに線路や電路の補修費用不払い、電力使用料不払いも驚くべきことです。
- ③ 北総鉄道や京成電鉄は、「小室・印旛日本医大駅間」を運行するに当たり、電車の走行数が同じであればほぼ同等の負担をすべきですが、実態は北総鉄道が過大に負担しています。千葉ニュータウン鉄道(株)は京成電鉄の100%子会社です。ここでも親子関係をうまく利用して、親会社の負担が小さくなるような仕組みとされているのです。

これらの主張は北対協(印西市と白井市の行政・議会代表者の協議会)が法律の専門家に分析を求めた「北総線運賃問題に関する調査報告書(H25年9月13日付)」でも指摘されているところです。

とりわけこの間私共は、北総鉄道が千葉ニュータウン鉄道(小室・印旛日本医大駅間の線路所有者で京成電鉄の完全子会社)に支払う線路使用料契約の不合理性(「運賃全額を線路使用料とする」)を明らかにして、平成30年3月の更改時には契約内容を改めるべきことを沿線自治体や千葉県に強く訴える取り組みを行ってきました。その結果2022年

10月から、運賃全額が線路使用料」という呆れた協定は見かけ上是正されましたが、北総鉄道に過大に負担させるという事実はほとんど改善されていません。

また、毎年北総鉄道の株主総会に当たっては沿線6市長や県知事に、「株主として北総線運賃値下げを求める発言」を要請しました。要請にこたえて発言されたのは今年は印西市、白井市、鎌ヶ谷市の3市だけでした。

さて、私ども北実会は去る11月22日、定期総会を開催いたしました。一年間の活動を確認し今後の進め方について論議いたしました。内容は同封の「2025年度『北総線の運賃値下げを実現する会』総会議案」の通りです。

いま、千葉ニュータウンでは、1世帯当たり1.5台の車を所有する車社会ですが、高齢化が進むなかで「車がなくても生活できる街」にするには北総線鉄道運賃引き下げが欠かせない課題だと考えます。

北実会は、これからもみな様のご支援のもとに、近隣自治体、千葉県、国交省などにも強く働きかけて高運賃の引き下げ実現に向けた運動を継続してまいります。チラシ発行による情報提供、鉄道事業者、行政への働きかけその他の活動を続けてまいります。

これまで同様、資金面でも特段のご配慮をいただきたく、お願い申し上げます。

当会は、会員の会費と住民の皆様からのご寄附で運営されております。

申すまでもなく、当会は超党派(協力いただける会派とはどこことでも協力し、特定の会派・グループを排除しない)で運営しております。

末尾記載の振替口座にお振り込みいただけますと幸いです。

敬具

なお、貴自治会・町内会様からご要望を頂ければ、北実会の活動や北総線の運賃問題について、いつでも説明にうかがいますので、お気軽にお声をおかけください。

(事務局 間嶋まで 090-8567-8797 E-mail: mashima5704@nifty.com)

郵便局振替口座番号：00140-5-159504

口座名：北総線の運賃値下げを実現する会

銀行から振り込む場合の口座番号は：

ゆうちょ銀行 〇ー九（ゼロイチキュウ） 0159504